

平成 27 年度（下半期）河川レンジャー及び 河川レンジャーアドバイザー活動報告

平成 28 年 3 月

伏見管内河川レンジャー	居原田晃司（6 期生） 谷口 順彦（7 期生） 中村 初太郎（8 期生）
山崎管内河川レンジャー	東 親志（7 期生） 松方 隆（8 期生）
河川レンジャーアドバイザー	坂本 清 田子 稔 中川 雄介 中村 桂子 仁枝 洋

目次

○居原田河川レンジャー（下半期）活動報告

1. 平成 27 年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段	1
2. 東高瀬川クリーンアップ	・平成 27 年 10 月 17 日(土) 3
3. 青少年によるクリーン宇治運動の参加	・平成 27 年 11 月 22 日(日) 5
4. 川遊び安全マップ作成に向けた宇治川支流の調査	・平成 27 年 12 月 17 日(木) 7
5. 川遊び安全マップ作成に向けた宇治川支流の調査	・平成 28 年 1 月 21 日(木) 9

○谷口河川レンジャー（下半期）活動報告

6. 平成 27 年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段	11
7. 伏見みなとの魚、釣ってみよう飼ってみよう	・平成 27 年 10 月 24 日(土) 14

○中村河川レンジャー（下半期）活動報告

8. 平成 27 年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段	16
9. 宇治川と支流(山科川・高瀬川)の水質調査	・平成 27 年 10 月～28 年 1 月 19

○東河川レンジャー（下半期）活動報告

10. 平成 27 年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段	21
11. 第 2 回 桂川の豊かな自然環境を知ろう	・平成 28 年 1 月 24 日(日) 24

○松方河川レンジャー（下半期）活動報告

12. 平成 27 年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段	26
13. 学校への出前授業 「流れる水のはたらき」	・平成 27 年 10 月 21 日(水) 28
14. 学校への出前授業 「流れる水のはたらき」	・平成 27 年 10 月 23 日(金) 30
15. 「川づくりと河川環境」	・平成 27 年 11 月 21 日(土) 32

○田子河川レンジャーアドバイザー（下半期）活動報告

16. 桂川小学校観察会(野鳥)	・平成 28 年 1 月 27 日(水) 35
------------------	-------------------------

○仁枝河川レンジャーアドバイザー（下半期）活動報告

17. 放生川をきれいにしよう	・平成 27 年 10 月 18 日(日) 37
18. 平成 27 年度羽束師地区防災訓練	・平成 27 年 11 月 8 日(日) 40

○中川河川レンジャーアドバイザー（下半期）活動報告

19. 京都伏見ジュニア河川レンジャー	・平成 27 年 10 月 42
---------------------	------------------

○淀川管内河川レンジャー連携活動

20. 京都環境フェスティバル 2015	・平成 27 年 12 月 12 日(土)～13 日(日) 44
----------------------	----------------------------------

○居原田河川レンジャー（下半期）活動報告

1. 平成 27 年度 活動の目的と達成手段

1.1 活動の目的

わが市を流れる宇治川は上流に天ヶ瀬ダムがあり、流量が多く川の流が速いため、子どもの頃から「川で遊んではダメ」という教育を受け、その結果川全体から遠ざけられてきた。その宇治川は観光、防災目的の開発は進められているが、親水を目的とした整備は行われていない。

一方宇治川に流れ込む支流には、水生生物や魚が多く生育する場所や子どもが安全に遊ぶことができ、地域住民が川と親しめる場所が存在するはずだが、十分に発掘されていない。

以上の課題認識から、宇治川と宇治川支流の安全性の違いがわかり、子どもの自然体験活動に役立つ宇治川川遊び安全マップをつくり、行政に実施に向けた提案をすることを活動の目的とする。

1.2 活動の目標

Step1 地域住民の川へ関心をもってもらうための活動を行い、宇治川川遊び安全マップ作成ワーキンググループの設立に向けて参加者を集める。

Step2 宇治川川遊び安全マップ作成ワーキンググループを設立し、管理者と協働した学習会、調査を行う。

Step3 宇治川川遊び安全マップ作成を作成し、小学校の総合学習で川での体験学習実施に向けた提案を行う。

●活動内容

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行	1期		2期	
		1	2	3	4	5~RA
Step1 地域住民の関心を高める	①地球環境カードゲームで川の生きものを学ぶ ・子どもの好きなカードゲームから川の生きものを知ってもらおう。 ②川の生きものガサガサ調査隊 ・宇治川支流で水生生物や淡水魚を捕まえて川の生きもの多様性を知ってもらおう。 ③クリーンアップ活動 ・宇治川、宇治川支流で清掃活動を行い、川への関心を高めてもらう。					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	① 宇治川川遊び安全マップ作成ワーキンググループの設立及び現地調査 ・宇治川、宇治川支流の安全性の違いを学ぶ。 ・宇治川支流で生息する生きもの調査を実施する。					
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	①宇治川川遊び安全マップの作成 ・調査したデータを集約して川遊び安全マップを作成する。 ②宇治川川遊び安全マップに基づいた川遊びの提案 ・川遊び安全マップの小学校に配布し、総合学習での活動に向けた提案を行う					

平成27年度の活動一覧

活動分野	活動名	実施予定
河川の環境保全を図る活動	東高瀬川クリーンアップの参加、連携（年2回）	平成27年 10月17日
	青少年によるクリーン宇治運動の参加、連携（年2回）	平成27年 11月22日
	川の生きものガサガサ調査隊 in 志津川、山科川	平成27年 8月23日
	川遊び安全マップ作成に向けた宇治川各支流の現地川歩きでの安全性調査	平成27年 6月24日 12月17日 平成28年 1月21日 2月18日

2. 東高瀬川清掃活動

・平成27年10月17日(土)

2.1 実施状況

活動名	東高瀬川クリーンアップと菜の花種まき		
活動分野	河川美化・環境保全		
氏名	居原田 晃司 (伏見出張所管内河川レンジャー)		
連携等	団体との共催 (団体名：東高瀬川を美しくする会 京都市都市計画局まち再生・創造推進室 らくなん進都整備推進協議会)		
活動日時	平成27年10月17日(土)9:00~10:30		
実施場所	東高瀬川堤防兩岸 (津知橋通~大手筋通) 		
参加対象	地域住民・団体(地域団体) (団体名：東高瀬川を美しくする会)		
参加人数	参加総数	93名	
	参加者	84名	大人78名、子ども6名
	講師	—	
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	1名	松本浩造：松本保博氏
	府県・市職員	7名	京都市都市計画局まち再生・創造推進室7名
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	9:00	開始、主催者のコメント、レンジャーから活動の注意点	
	9:15	現地移動、清掃開始、東高瀬川兩岸斜面の清掃開始	
	10:00	収集ゴミの運搬、集積場所に移動	
	10:10	菜の花の種植え付け	
	10:30	終了、解散	
配付資料	活動の注意事項案内		
関係機関からの支援内容	河川事務所様から火ばさみ、作業手袋貸出、清掃実施エリアの除草作業 京都市からゴミ袋提供、ゴミ飛散防止ネット貸出		
河川レンジャーの活動内容	準備	清掃実施エリアの下見、ゴミ集積場所の選定、共催団体との打ち合わせ、河川事務所様へ除草作業、清掃道具協力依頼	
	当日	ゴミ集積場所に立て札設置、参加者の受付、清掃活動の注意点の説明、清掃活動時の安全見守り、ゴミを収集場所へ輸送、清掃道具の回収	
	事後	河川事務所様へ清掃道具返却	
参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車からと思われる投げ込みゴミ方が多かった。 ・地元住民の腐敗した食品の投棄が頻繁にあって、どう対処したらよいかとの苦情があった。 ・菜の花が咲いたら見に来たい。 		

2.2 活動状況



清掃活動



今回の回収されたゴミ

3. 「青少年によるクリーン宇治運動」

・平成27年11月22日(日)

3.1 実施状況

活動名	「青少年によるクリーン宇治運動」		
活動分野	河川美化		
氏名	居原田 晃司 (伏見出張所管内 河川レンジャー)		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出席等 (団体名：青少年によるクリーン宇治運動実行委員会、宇治市教育委員会)		
活動日時	平成27年11月22日(日) 9:00~10:20		
実施場所	(集合場所) 宇治公民館 3階 大会議室 宇治市宇治里尻 71-9 		
参加対象	地域住民・団体(地域団体・学校・行政・企業など) 宇治市スポーツ少年団、宇治文化少年団、ボーイスカウト宇治第1団、第5団、ガールスカウト京都府第18団、宇治市子ども会連絡協議会、宇治市青少年健全育成協議会、宇治市少年少女合唱団		
参加人数	参加総数	203名	大人78名、子ども125名
	参加者	3名	
	講師	—	
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	—	
スケジュール	9:00	開始	
	10:10	終了	
配付資料	式次第及び清掃地区割		
関係機関からの支援内容	宇治市：火バサミ、分別回収用ゴミ袋、		
河川レンジャーの活動内容	準備	特になし	
	当日	開会式、清掃活動の参加	
	事後	特になし	
参加者からの意見	今回清掃活動を行った宇治橋下流側の右岸エリアは前回よりゴミが多く、観光客の増加が原因として考えられる。		

3.2 活動状況



活動実施上の注意事項の説明



美化活動



美化活動



ゴミ集積場所

4. 川遊び安全マップ作成に向けた宇治川支流の調査 ・平成 27 年 12 月 17 日（木）

4.1 実施状況

活動名	川遊び安全マップ作成に向けた宇治川支流の川歩き活動		
活動分野	環境保全		
氏名	居原田 晃司(伏見出張所管内河川レンジャー)		
連携等	なし		
活動日時	平成 27 年 12 月 17 日（木） 9：30～12：00		
実施場所	（場所）古川支流井川（府道 69 号線との交差点）～古川合流点 		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	2 名	
	参加者	—	
	講師	—	
	スタッフ	1 名	
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	9：30	開始：近鉄奈良線小倉駅集合	
	9：35	・居原田レンジャーによるスタッフへの本日の活動の趣旨説明	
	9：40	・井川の川の中に入りにより、川の水深・環境等を水中歩行により古川合流点まで調査を開始（居原田レンジャー）	
	11：55	・小倉駅に到着後・活動の取りまとめを行う。	
12：00	終了		
配付資料	・宇治川支流の川歩きマップ		
関係機関からの支援内容	特になし		
河川レンジャーの活動内容	準備	宇治川支流（井川）の川歩きマップの資料作成	
	当日	宇治川支流（井川）の川歩きによる安全性調査、映像記録	
	事後	次回宇治川支流の川歩きの選定	
参加者からの意見	今回調査したエリアは水深がごく一部を除き浅めであり、子どもが川に入って活動するには適しているが、水辺の降りる適当な箇所がなかった。		

4.2 活動状況



スタッフとの調査方法の説明



居原田レンジャーによる水中歩行調査風景



井川の平均的な河道風景



井川に合流している支派川（井川合流点）

5. 川遊び安全マップ作成に向けた宇治川支流の調査 ・平成 28 年 1 月 21 日（木）

5.1 実施状況

活動名	川遊び安全マップ作成に向けた宇治川支流の川歩き活動		
活動分野	環境保全		
氏名	居原田晃司(伏見出張所管内河川レンジャー)		
連携等	なし		
活動日時	平成 28 年 1 月 21 日（木） 9：30～12：00		
実施場所	（場所）名木川（大久保小学校前～大開小学校前） 		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	2名	
	参加者	—	
	講師	—	
	スタッフ	1名	
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	—	
スケジュール	9：30	開始： 広野公民館前集合	
	9：35	・スタッフへの本日の活動の趣旨説明	
	9：45	・大久保小学校前の名木川の川の中に入りにより、川の水深・環境等を水中歩行により大開小学校前まで調査を開始（居原田レンジャー）	
		・川に沿った道路における交通状況や進行ルートを確認し、説明場所等の空間を同時に調査を行った。	
	11：00	・広野公民館に到着後・次回活動（名木川下流）の下調べを行う。	
12：00	終了		
配付資料	宇治川支流（名木川）の川歩きマップ		
関係機関からの支援内容	特になし		
河川レンジャーの活動内容	準備	宇治川支流（名木川）の川歩きマップの資料作成	
	当日	宇治川支流（名木川）の川歩きによる安全性調査、映像記録	
	事後	次回宇治川支流の川歩きの選定	
参加者からの意見	今回調査したエリアは水深が極めて浅く、川底が平らであるため、子どもが川に入って活動するには非常に適している。ただし、上流にある堰堤付近は危険なため、避ける必要がある。		

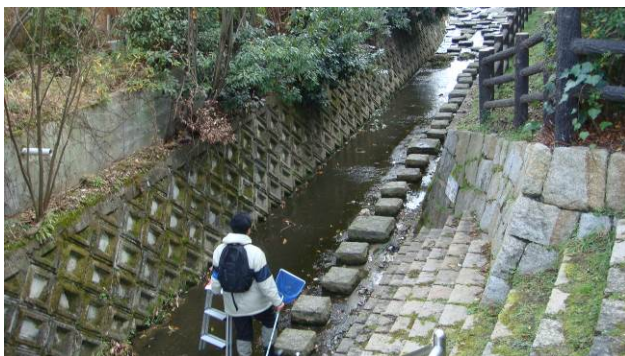
5.2 活動状況



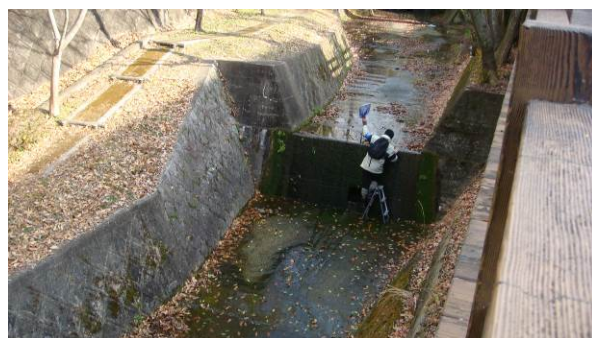
・ 広野公民館前の名木川（道路、河川工事中）



水中歩行調査風景



・ 一部区間に設けられた飛び石



・ 上流部に多く見られる堰堤

○谷口河川レンジャー（下半期）活動報告

6. 平成 27 年度 活動の目的と達成手段

6.1 活動の目的

淀川では人間の諸活動の影響により依然として多くの淡水魚類が絶滅危惧状態におかれている。しかし、近年、淀川では河口堰を超えて天然海産アユの稚魚の遡上が確認されるようになった。これは下水処理法などの技術的改善により水生生物環境が回復傾向にあるためと考えられている。このような天然アユの復活の兆しは淀川の環境保全活動における朗報であり、ここでそれらの現状と動態を把握することは、今後の淀川の生物環境と生物多様性の保全における本格的復活に道を開く可能性を包含している。

私の河川レンジャー活動においては、淡水魚資源の復活とそれらの保全を目指して、流域住民とともに現状把握につとめさらなる進展に向けて環境の改善策を提起することを目的とする。このような課題への初歩的取り組みとして、アユをはじめとする淡水魚の生物学的、生態学的特性を知るための体験型実践活動を企画する。次に、河川の流域住民、漁民、学術研究者の参加を得て、アユを中心とする淡水魚の復活に関する総合的意見交換会を実施し、淀川の環境の本格的復活を促進できるよう最良の解決策の創出および提案を試みる。

6.2 活動テーマと活動

Step1. 淡水魚(特にアユ)の生物学的特性と環境に関する実践的学習活動の実施

- 1) アユなどの淡水魚の捕獲・釣獲を介して、それらの生態的生理的特性について体感する経験を積み上げる。
- 2) アユなどの淡水魚の餌となる底生生物、藻類、底石の付着藻類などを採取・定量し、アユなどの餌料供給と高速成長の秘密を探る。
- 3) 親子友釣り大会でアユの習性を学び、アユの生き様を体感する。また、淡水魚の小物釣りを親子で体験させ、アユやその他の淡水魚への関心を育くみ、それらの生息する河川環境に関心をもつ契機を提供する。
- 4) 産卵場の探索とアユの捕獲を試み、産卵場となる条件と場所を特定する方法を学ぶ。

Step2. 魚類と河川の諸特性の相互作用に関する現地実習と問題の発掘

- 1) 現存のダム(堰)および魚道を見学し当該魚道の機能性について検証し、機能不全の魚道についてはその原因を解明する。
- 2) アユが生息する河川環境について、アユが生息する川(支流)と生息しない川(支流)の水質および底質の比較調査を実施する。
- 3) アユが産卵する瀬の条件に関して、親魚の採捕と採卵を実施する中で、優れた産卵場と劣悪な産卵場の条件について比較検討を行い、その答えを探る。

Step-3. 問題の特定と解決策の提言

- 1) 天然アユの遡上の現地観察と淀川大堰の魚道を有効にするための運用技術に関する意見交換を実施し、有効な方法を提案する。
- 2) 現場視察をとおして、資源の保全を視野にいれた遊漁の有り方に関する意見交換と提言をおこなう。
- 3) 自然産卵場の比較検討と産卵促進のための保護水面の検討と提案、自然産卵場のない支流においては産卵場の蘇生法について提言する。
- 4) 淀川の天然アユの復活のための総合的提言を行う。

●活動内容

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行		1期		2期
		1	2	3	4	5~RA
Step1 地域住民の関心を高める	<p>① アユ学のすすめ：アユを観察材料として淡水魚の特性を概説し、その生態的生理的特性について学ぶ。（伏見出張所会議室）</p> <p>② 淀川大堰の遡上魚の現地観察会：魚道におけるアユ稚魚の遡上状況を観察し、自動計数の仕組みについて見学する（毛馬出張所）。</p> <p>③ アユの摂餌生態：縄張りアユと群れアユの行動を観察する。上流の瀬の底石に付着している藻類を採取・定量し、餌生物のカロリー量を推定する。アユの高成長を支えるメカニズムに関する理解を深める。（大河原潜水橋周辺）</p> <p>④ 友釣り体感会：友釣りを通じてアユの生き様を体感する。（木津川中流域）</p> <p>⑤ 産卵場の探索とアユの捕獲作戦：産卵場となる適地の条件について学ぶ。（木津川市加茂町銭司の河川敷）</p> <p>⑥ 宇治川の魚、釣ってみよう飼ってみよう（伏見みなと公園内）</p>					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	<p>① 宇治川派流（濠川下流）における稚アユの生息、成長に関する調査</p> <p>② 中流域の取水堰（ダム）および魚道の見学：魚道の実物を見学し、その仕組みに関する説明を受け、当該魚道がなぜ機能しないかについてその原因を探る。</p> <p>③ 淀川大堰および毛馬閘門へ到達したアユ稚魚が魚道を通過させるため効果的の施工について検討する。</p> <p>④ 淀川三川の流下仔魚の流下状況の観測により翌年のアユ稚魚の遡上予測の可能性を探る。</p>					
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	<p>① 淀川大堰および毛馬閘門におけるアユ稚魚の遡上促進のための施策の考案</p> <p>② ダム（堰）および魚道の見学：魚道の実物を見学し、その仕組みに関する検討と効果的簡易魚道の提案（事例：南山城村やまなみホールおよび相楽発電所取水堰）</p> <p>③ 淀川三川のアユ産卵場を特定し、親魚と孵化仔魚の保全のため産卵期間中の禁漁の区間と期間について提案するとともに合意形成のための検討会を実施する</p>					

平成 27 年度の活動一覧

活動分野	活動名	実施予定
河川環境の保全を図る活動	① 宇治川派流(濠川下流域)におけるアユの復活のための条件に関わる調査 ② 親子友釣り体験会：友釣りを通じてアユの生き様を体感する。(木津川) ③ 宇治川の魚、釣ってみよう飼ってみよう	平成 27 年 ① 4 月 18 日 ② 中止 ③ 10 月 24 日
河川行政と地域・住民・住民団体とのコーディネートを図る活動	④ 淀川大堰における天然アユ稚魚の遡上促進に関する意見聴取および提案	④5 月

平成 27 年度の活動一覧(連携活動)

活動分野	活動名	実施予定
河川環境の保全を図る活動	① 淀川大堰および毛馬閘門における天然海産アユの遡上数と自動計数の仕組みに関する現地見学会 ② 産卵場の探索とアユの捕獲作戦：産卵場となる適地の条件について学ぶ。	平成 27 年 ①5 月 9 日 ②9 月 26 日
河川行政と地域・住民・住民団体とのコーディネートを図る活動	①ダム(堰)および魚道の視察および検討会：魚道の実物を見学し、その仕組みに関する検討と効果的簡易魚道の提案(南山城村やまなみホールおよび相楽発電所取水堰) ②淀川三川のアユ産卵場を特定し、親魚と孵化仔魚の保全のための産卵期間中の禁漁区域を提案と合意形成のための意見交換会の実施 ③淀川三川の流下仔魚の流下状況の観測により翌年のアユ稚魚の遡上予測に関する学習	①7 月 30 日 ②7 月 4 日 ③中止

7. 伏見みなとの魚、釣ってみよう飼ってみよう

平成 27 年 10 月 24 日(土)

7.1 実施状況

活動名	伏見みなとの魚、釣ってみよう飼ってみよう一親子で楽しむ小魚釣り大会		
活動分野	自然観察		
氏名	谷口 順彦 (伏見出張所管内河川レンジャー)		
連携等	日本釣振興会京都支部、伏見楽舎		
活動日時	平成 27 年 10 月 24 日(土)9:00~14:30		
実施場所	伏見港~河川レンジャー上流域センター会議室		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	27名	
	参加者	16名	大人5名、子ども11名
	講師	—	
	スタッフ	3名	松方河川レンジャー 福井・仁枝河川レンジャーアドバイザー 京淀漁協 藤林氏
	連携団体関係者	7名	日本釣振興会京都支部 多賀氏1名、伏見楽舎6名
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1名	午前中
スケジュール	9:00	開始、レンジャーから開会の挨拶と活動内容の説明	
	9:45	インストラクターからライフジャケット装着、釣り糸および餌の付け方の指導	
	10:00	釣りの開始、カネヒラなどの釣果あり。	
	12:30	本日の優秀成績者の表彰	
	13:00	循環水槽展示法の説明	
	13:40	循環水槽の組み立てと飼育上の留意点の説明	
	15:00	終了、解散、後片付け	
配付資料	当日活動内容の説明書、参加者名簿(担当レンジャー作成)、つりの基本とまめ(パンフレット (日本釣振興会提供))		
関係機関からの支援内容	当日使用の釣り具一式、(レンジャー所有の釣り具、レンジャー自作の釣り仕掛け)、レンジャー事務所保有の飼育機器、釣り方、マナーに関するパンフレット (日本釣振興会提供)		
河川レンジャーの活動内容	準備	1) 釣り具の準備、2) 伏見楽舎メンバーとの打ち合わせ、3) 釣り場の下見	
	当日	1) 会場の設営、2) 釣り具等の持ち込み、3) 開会宣言、4) 釣り仕掛けの指導、5) 実釣、6) 成績優秀者の表彰と終了宣言、循環水槽の作り方	
	事後	1) 会場、道具類などの後片づけ、2) 会場と周辺の清掃	
参加者からの意見	アンケート結果 1) 興味をもてましたか、「すごく興味をもてた」:100%、2) 川のことをもっと知りたいと思いましたか、「すごく思う」+「思う」:100%、3) この活動に再度参加したいですかとの問いに対して、「すごく思う」:100%であった。ほとんどの項目で最も前向きな回答が得られた。		

7.2 活動状況



レンジャー・連携団体のコメント



安全な釣り場（柵内）



参加者児童の釣果カネヒラ雌



本日の第1位表彰

○中村河川レンジャー（下半期）活動報告

8. 平成 27 年度 活動の目的と達成手段

8.1 活動の目的

伏見は豊臣秀吉の宇治川付け替えを契機に大きく発展した町です。対岸の向島には広大なヨシ原が広がり、豊かな生態系をはぐくんでいます。

このような宇治川の魅力や歴史を多くの人に伝え、宇治川と宇治川のヨシ原を地域の財産と位置づけ、もっと身近な存在にしたいと考えています。

このため、河川レンジャーが橋渡し役となって、ヨシをシンボルとして地域に親しまれる宇治川を実現することを活動の目的とします。

8.2 活動の目標

Step1 宇治川の魅力をできるだけ多くの人に伝えます。活動参加人数を成果とし、年間目標を1,000名とします。

Step2 地域のヨシを住民と行政が一体となって保全する取り組みを進めます。
活動成果は「ヨシ原再生連絡会議」の設立とします。

Step3 「ヨシ原再生連絡会議」が主体となって「ヨシ原再生ミーティング（仮称）」を開催します。

●活動内容

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行	1期		2期	
		1	2	3	4	5～RA
Step1 地域住民の関心を高める	①小学校出前授業「宇治川を知ろう」 子どもたちに宇治川の歴史・治水・環境（生物、水質等）を伝え、川とともに発展してきた地域への理解を深めていただく。 ②地域の河川環境に関する啓発活動その1 「宇治川のヨシを知ろう」 ヨシ刈の見学会を開催し、現場でヨシ笛作りを体験し、河川に関心を高める機会とする。 ③地域の河川環境に関する啓発活動その2 「ツバメの罅入り観察会」 宇治川のヨシ原で観察会を開催し、自然と動植物の生態にふれ、人と自然の共生の大切さを知っていただく。 ④地域の河川環境に関する啓発活動その3 「宇治川と支流（山科川、高瀬川）の水質調査」 ⑤隣接学区と連携した防災体験会 「南浜、桃山、向島、向島南学区」		→			
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	①ヨシ原再生連絡会議（仮称）の設立 地域のヨシを住民と行政が一体となって保全するために「ヨシ原再生連絡会議」を設立する。 ②ヨシ原ミーティング（仮称）の開催 ヨシ原再生連絡会議が主体となり、ヨシの保全等に関わる団体が一堂に会する研究会を開催し、流域の整備やヨシ原の重要性を訴えた「ヨシ原保全宣言（仮）」をまとめる。		→			
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	①モニタリングの実施 「ヨシ原再生連絡会議」を母体に、ヨシ原の調査を継続的に実施し、地域住民の意見とともに、情報を広く発信していく。		→			

平成 27 年度の活動一覧

活動分野	活動名	実施予定
河川環境保全を図る活動	地域の河川環境に関する啓発活動・その1 「宇治川のヨシを知ろう」	平成 27 年 6 月 18 日
	地域の河川環境に関する啓発活動・その2 「ツバメの埒入り観察会」	平成 27 年 8 月 1 日
	地域の河川環境に関する啓発活動・その3 「宇治川と支流(山科川、高瀬川)の水質調査」	6 月～2 月
	ヨシ原再生連絡会議(仮称)設立	中止
河川に係る歴史、文化の普及啓発活動	地域の小学校への出前授業 「宇治川の歴史、文化、動植物の学習」	平成 27 年 8 月 26 日
防災・救援・救難の推進を語る活動	隣接学区と連携した防災体験会 「南浜、桃山、向島、向島南学区」	中止

16. 宇治川と支流（山科川・高瀬川）の水質調査

・平成27年6月～平成28年2月

9.1 実施状況

活動名	宇治川と支流（山科川・高瀬川）の水質調査		
活動分野	水利用		
氏名	中村 初太郎（伏見出張所管内河川レンジャー）		
連携等			
活動日時	平成27年 6月21日（日）／7月19日（日）／8月16日（日）／9月20日（日） 10月18日（日）／11月15日（日）／12月20日（日） 平成28年 1月17日（日）／2月21日（日）		
実施場所	宇治川3カ所、山科川3カ所、高瀬川1カ所、濠川3カ所 		
参加対象	協力者		
参加人数	参加総数	88名	
	参加者	88名	6月～12月 10名（10箇所）：70名 1月～2月 9名（9箇所）：18名
	講師	—	
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	—	
スケジュール	10:00	開始 ・各調査ポイント担当者が採水 ・簡易水質検査薬「パックステスト」にて測定（COD(低濃度)、PH)	
	11:00	測定終了、記録用紙に記録／ ・各ポイント担当者から中村 R へ測定結果報告	
	12:00	報告結果を集計表へ記録 終了	
配布資料	・測定記録用紙		

関係機関からの支援内容		○淀川河川事務所： 簡易水質検査薬「パックテスト」にて測定（COD(低濃度)、PH)									
河川レンジャーの活動内容	準備	<ul style="list-style-type: none"> 実施計画の立案、協力者との調整 必要物品の支援依頼、調整 									
	当日	<ul style="list-style-type: none"> 天候および河川状況による実施判断 担当調査ポイントの測定 									
	事後	<ul style="list-style-type: none"> 協力者からの測定結果まとめ 活動報告とりまとめ 									
調査結果	●宇治川と支流(山科川・高瀬川)の水質調査 結果報告										
			実施日／測定結果								
		測定	6月21日	7月19日	8月16日	9月20日	10月18日	11月15日	12月20日	1月17日	2月21日
	東高瀬川 大信寺橋	COD(低濃度)	6	6.5	6	6	6	6	6	6	6
		PH	9.5	7	8	7	7.5	7	7.5	7.5	7.5
	宇治川 隠元橋(北清水町堤防下)	COD(低濃度)	4	6	6	6	6	4	4	4	4
		PH	8.5	7.5	8.5	7	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5
	宇治川 親月橋(国道24号)	COD(低濃度)	4	6	6	4	6	6	6	6	4
		PH	7.5	7	8	8	7.5	7.5	9.5	7	7.5
	宇治川 宇治川大橋(国道1号)	COD(低濃度)		8	8	6	6	6	4	7.5	6
		PH		6	6	7	7	6.5	6.5	6	7.5
	濠川 新町14 伏見住吉小学校北側	COD(低濃度)	6	6	6	7.5	6	6	4	6	6
		PH	8	8	8.5	6	8	7.5	7.5	7	7
	濠川 御駕町 玉の光・松山酒造前	COD(低濃度)	4	6	6	4	4	4	8	6	4
		PH	9	7	8.5	7	7.5	7.5	7.5	7.5	7
濠川 出合橋(中書島寺田屋側)	COD(低濃度)	6	4	6	6	6	4	4			
	PH	7	7.5	8	7.5	7.5	7	9.5			
山科川 大元橋(醍醐森ヶ淵町)	COD(低濃度)	6	6	6	6	6	7	6	6	4	
	PH	6	7	7	7	7	6	7	7	7	
山科川 新六地藏橋(外環状線)	COD(低濃度)	6	4	6	7	6	4	8	8	6	
	PH	6.5	7	7	4	7	6.5	6.5	6.5	7	
山科川 中野橋(桃山南口根来)	COD(低濃度)	6	6	6	6	6	7	6	7	6	
	PH	7	7	7	6.5	7	6.5	6.5	6.5	6.5	

○東河川レンジャー（下半期）活動報告

10. 平成 27 年度 活動の目的と達成手段

10.1 活動の目的

- ・ 桂川下流域周辺の京都市伏見区、長岡京市、大山崎町地域の方には、桂川が身近な河川に感じられていないと思われる。
- ・ 桂川で実施される治水・防災の為の工事について、内容や工事実施時期などが伝わっていないと思われる。
- ・ 淀川河川公園の整備・管理運営について、内容などが伝わっていないと思われる。

以上の課題認識から、

桂川周辺地域の方と一緒に、身近な河川環境の現状を把握するとともに、桂川における治水・防災・公園などの整備計画の施策について学び、問題点や課題について考えていながら、桂川を知っていただくことを活動の目的とする。

9.2 活動テーマと活動

- ①身近な河川環境について伝える活動
- ②淀川河川整備計画（人と川とのつながり、治水・防災）について伝える活動
- ③自助・共助による防災意識を高める活動

●活動内容

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行	1期		2期	
		1	2	3	4	5~RA
Step1 地域住民の関心を高める	①桂川を知り・楽しむ観察会 ・ヒメボタルなど動植物の自然観察を通じて、桂川の豊かな自然の魅力を伝える。 ②治水・防災のための整備計画を知る勉強会 ・これまでの台風などの被害状況を把握するとともに、治水・防災のための取り組みを知る。 ③治水対策工事現場見学会 ・桂川で施工されている緊急治水対策の工事現場を見学。工事の必要性や状況を知る。 ＊以上の活動と併行して、Step2のワークショップ参加者募集を行い、活動成果とします。					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	①桂川の豊かな自然環境を踏まえた適切な治水・防災工事のためのワークショップ ・治水・防災対策工事における自然環境への配慮内容などの意見交換により自然環境保護の意識の醸成を図る。 ②桂川の豊かな自然環境を踏まえた安全なまちづくりワークショップ ・マイ防災マップの作成により、自助・共助による防災意識の醸成を図る。 ＊環境配慮計画書やマイ防災マップを活動成果とします。					
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	①安全なまちづくり協議会 ・ワークショップから協議会へ移行。 ・地域の自主防災組織等と連携して地域の標識等の設置などを提案していく。 ＊まちづくり協議会の設置や自治体への標識等設置の提案書を活動成果とします。					

平成 27 年度の活動一覧

活動分野	活動名	実施時期
<p>■河川の環境保全を図る活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川環境保全・再生の普及・啓発・学習・住民参加の促進 ・河川環境のモニタリング(自然観察) 	<p>桂川の豊かな自然環境を知ろう</p>	<p>平成 27 年 6 月 28 日</p>
<p>■河川行政と地域・住民・住民団体とのコーディネートを図る活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・淀川水系河川整備計画などの把握 	<p>桂川における河川整備計画について</p>	<p>平成 28 年 1 月 24 日 2 月 28 日 9・11・1 月</p>
	<p>桂川における治水・防災対策について</p>	

11. 第2回 桂川の豊かな自然環境を知ろう

・平成28年1月24日(日)

11.1 実施状況

活動名	第2回桂川の豊かな自然環境を知ろう活動		
活動分野	環境保全		
氏名	東 親志(山崎出張所管内河川レンジャー)		
連携等	河川レンジャーとの協同・団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名:) なし		
活動日時	平成28年1月24日(日) 13:00~15:45		
実施場所	(場所) 長岡京市中央生涯学習センター4F 		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	3名	
	参加者	2名	
	講師	—	
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	—	
	職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	13:00	開始: 会場準備・受付	
	13:30	・東河川レンジャーによる活動の趣旨説明 ・桂川にかかる河川改修・環境等についての講義を以下の題目により説明 ① 桂川における姫ボタルの生息地について ② 淀川水系河川整備計画の概要 ③ 桂川緊急治水対策の工事実施状況 ④ 平成27年度淀川河川事務所生態環境調査検討計画(桂川検討部会関連) ⑤ 平成26年度淀川環境委員会からの報告	
	15:20	後片付け: 終了	
配付資料	・桂川における姫ボタルの生息地について ・淀川水系河川整備計画の概要 ・桂川緊急治水対策の工事実施状況 ・平成27年度淀川河川事務所ない性耐環境検討計画		

		<ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度淀川環境委員会からの報告 レンジャーニュース (No. 32・33 号)
関係機関からの支援内容		なし
河川レンジャーの活動内容	準備	11 月 27 日：長岡京市および大山崎町広報へ掲載手続き 11 月 28 日：地元自然保護団体と協議、活動の P R 12 月 5 日：大山崎町ヒメボタル保全地にて活動の P R 12 月 12 日：京都環境フェスティバルにて活動の P R 12 月 20 日：地元自然保護団体総会にて活動の P R 1 月 9 日：淀川河川公園（大山崎地区）にて利用者へ P R
	当日	12:30 現地入り準備 13:00 受付開始 13:30→15:00 閉会 15:20 後片付け終了、退出
	事後	活動報告とりまとめなど
参加者からの意見		参加者から以下の意見が寄せられた。 <ul style="list-style-type: none"> 桂川における防災の取り組みを知ることができた。 災害に対する心構えを知ることができた。

11.2 活動状況



・会場準備風景



・東レンジャーによる講演風景



・熱心に東レンジャーの説明を聞く参加者



・参加者による質疑応答風景

○松方河川レンジャー（下半期）活動報告

12. 平成 27 年度 活動の目的と達成手段

12.1 活動の目的

小泉川は、天王山の近くの山に源を発し、全長 7 km、集水域 10 km の小さな川である。山中から、田畑をへて町中を流れていることで、水はきれいで水生生物も多く、6 月には、ホタルも飛び交う。下流から上流まで、魚道や自然に近い護岸があり、魚が遡ることが自然にできる。身近な川でありながら、この川が田畑へ水を送る大切な役割を果たしていることや、台風などによる洪水の危険を防ぐために、河川工事がくり返しおこなわれてきたこと、また、親水性を生かした河川工事や、自然を生かした川づくりなど、工事のやりかたが変わってきていることが地域の住民に知られていない面もある。

行政は「工期」との絡みで、住民にその河川整備の内容や意義を十分に知らせることなく、行政主導で工事を進めることが多い。これでは、住民は川とのつきあい方を考える機会を失うし、一方的に多自然型工法を与えられても、川を守る意識は育たない。住民も参加した川と暮らしの関係を見直していくことが必要である。

まず、岸辺を歩き、川に入り親しむ中で、自然の豊かさと川の楽しさを知るとともに、親水性に目をむけた河川整備を知り、利水、治水などの川の大切さに目を向けてもらう場とする。さらに、下流でつながる桂川にも目を向け、生き物の多様性や自然環境などを知らせていきたい。

「いい町は、いい川を持つ」という言葉がある。地域の人が、川を通じてお互いにつながりを持ち、うるおいある豊かな生活をつくっていけるように、河川レンジャーの立場をいかし、行政と協力しながら、住民が参加できる活動を進めていきたい。

11.2 活動の目標

- Step1 子どもたちや地域住民に川に親しみ、川を楽しむ機会をつくり、川への関心を高めてもらう。
- Step2 行政や地域団体などと連携して取り組みことで、活動内容や範囲を広げ、住民自らが主体的に活動する機会をつくる。
- Step3 行政、地域団体などと連携して取り組むことで、環境保全や防災・治水などについて、積極的に意見を出し合う場をつくっていく。

●活動内容

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行	1期		2期	
		1	2	3	4	5～RA
Step1 地域住民の関心を高める	① 小泉川の観察と環境調査（観察会） ・水辺の自然と環境を見ながら桂川まで歩く。 ・水生生物を調べ、川の水質や環境を調べる。 ・魚をとって、種類や生態を調べる。 ② 「流れる水のはたらき」（理科5年）と河川工事（護岸や川床）について（小学校出前授業） ③ 「川づくりと河川環境」（市民向け学習会） 河川整備の内容を、自然環境との関係で考える					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	① 「長岡京市ジュニアレンジャー」（仮称）の実施・展開「講座」の開設 参加者の募集、関係機関との内容の調整 ② 行政、地域団体などと連携して取り組むことで、活動内容や範囲を広げ、主体的に活動する機会をつくる。防災施設や他自然型工法の見学					
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	① 「長岡京市ジュニアレンジャー」の継続 参加者自らで内容を作り上げ、主体的に活動できるように進めていく ② 行政、地域団体などと連携して取り組む中で、環境保全や防災・治水などについて、積極的に意見を出し合う場をつくっていく					

平成 27 年度の活動一覧

活動分野	活動名	実施時期
河川の環境保全を図る活動	桂川の合流地点まで歩きながら、自然と環境を調べよう（観察会）	平成 27 年 4 月 26 日
	小泉川の水生生物を調べ、川の水質や環境を知ろう（観察会）	平成 27 年 6 月 21 日
	小泉川の魚をとって、種類や生態を調べよう（観察会）	平成 27 年 7 月 12 日
	「流れる水のはたらき」と河川工事（護岸や川床）について（小学校出前授業）	平成 27 年 10 月 21 日 10 月 23 日
	「川づくりと河川環境」（市民向け学習会）	平成 27 年 11 月 21 日

13. 学校への出前授業「流れる水のはたらき」

・平成27年10月21日(水)

13.1 実施状況

活動名	小学校出前授業「流れる水のはたらき」		
活動分野	環境保全・啓発		
氏名	松方 隆 (山崎出張所管内河川レンジャー)		
連携等	京都府乙訓土木事務所河川砂防室		
活動日時	平成27年10月21日(水) 9:35~10:20		
実施場所	長岡第十小学校：長岡京市井ノ内玉ノ上 22		
参加対象	5年生児童 教員		
参加人数	参加総数	58名	
	参加者	56名	児童53名、担任教師3名
	講師	—	
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	1名	乙訓土木事務所
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	9:35	開会 挨拶 内容の紹介	
	9:37	河川レンジャーから「川とわたしたちの生活」の話	
	9:45	河川砂防室から「流れる水のはたらき」の話	
	10:10	質疑応答	
	10:20	閉会 後片付け	
配付資料	川の地図と川の様子プリント		
関係機関からの支援内容	京都府乙訓土木事務所河川砂防室 児童用の学習スライドの作成 「雨の強さと降り方」のプリント		
河川レンジャーの活動内容	準備	学校長への出前授業の依頼 土木事務所への協力要請 スライドの作成	
	当日	出前授業	
	事後	活動のまとめ 活動報告の作成	
参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・川は、いろいろな人が工事をして、堤防など作ったりして工夫しているのに、それが川の水の力でこわされると聞き、びっくりした。すごくこわいものなんだなあと思いました。また雨の量については知らなかった話をたくさん話してください、とても勉強になりました。 ・ぼくは前まで、小畑川でなんの工事をしているのかわからなかったけど、今日の話で、魚や川の流れなどいろいろなことを考えてやっていたということがわかりました。 ・土砂災害の映像で、あんなのにまきこまれるのはいやだななあと思いました。小畑川は、流れているだけだと思っていたけど、中流や下流で、そんな対さくをしているなんて知りませんでした。 ・大雨がふった時の様子やどれくらい雨がふったらどうなるかなど、くわしく知ることができました。また、上流と下流のちがいを写真で見ることができました。 ・雨が1時間に50ミリふるだけで、道路が川のようになるんだなあと思いました。たった5cmなのにと、聞いてびっくりしました。川の外側は、ただ流れが速いだけだと思っていたけど、堤防などをけずっているなんて初めて知りました。あと、土石流はこわいなあと思いました。 		

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ぼくたちの知らないところでも、ていぼうなどがあつたり、渡辺さんたちのようにていぼうをなおしたりしてくださっているので、今あまり水害などがこの近くで起きない、いろいろな人の工夫があるからだと思います。 • 小畑川では、魚にやさしくするために、卵をうむところや小さなだんさを作っていたことにすごくびっくりしました。 • 川は短時間で流れが荒くなっていくので、雨がふってきたら「まだそんなにふっていないので大じょうぶ。」なんて思わず、早く帰るようにしたいです。 • 川は、流れの強さが場所によってちがうことを知りました。ていぼうがつぶれてしまったらなおすなど、川はいろいろ大変だと思います。
-----------------	---

13.2 活動状況



小泉川の護岸について説明



カーブの所では護岸が削られる



雨の量でどんな様子になるか

14. 学校への出前授業「流れる水のはたらき」

・平成27年10月23日(金)

14.1 実施状況

活動名	小学校出前授業「流れる水のはたらき」		
活動分野	環境保全 啓発		
氏名	松方 隆 (山崎出張所管内河川レンジャー)		
連携等	京都府乙訓土木事務所河川砂防室		
活動日時	平成27年10月23日(金) 9:00~11:35		
実施場所	長岡第五小学校:長岡京市下海印寺東山1		
参加対象	5年生児童 教員		
参加人数	参加総数	167名	
	参加者	165名	児童160名、担任教師5名
	講師	—	
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	1名	乙訓土木事務所
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	9:00	会場準備、打ち合わせ	
	9:40	開会 挨拶 内容の紹介 出前授業一回目 5年生3クラス	
	9:42	河川レンジャーから「川とわたしたちの生活」の話	
	9:50	河川砂防室から「流れる水のはたらき」の話	
	10:15	質疑応答	
	10:25	閉会	
	10:50	開会 挨拶 内容の紹介 出前授業2回目 5年生2クラス	
	10:52	河川レンジャーから「川とわたしたちの生活」の話	
	11:00	河川砂防室から「流れる水のはたらき」の話	
	11:25	質疑応答	
11:35	閉会		
配付資料	川の地図と川の様子プリント		
関係機関からの支援内容	京都府乙訓土木事務所河川砂防室 児童用の学習スライドの作成 「雨の強さと降り方」のプリント		
河川レンジャーの活動内容	準備	学校長への出前授業の依頼 土木事務所への協力要請 スライドの作成	
	当日	出前授業 司会進行	
	事後	活動のまとめ 活動報告の作成	
参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・川はたくさん自然のめぐみをくれるけれど、大雨がおこると大きな災害が起きてしまうこともあるんだなあと思いました。その災害が起きないように土木事務所や河川レンジャーの方や、地域の方々に、川はもちろん、私たちの生活や命、生きていく上で大切な家などを思ってくださいているんだなあと思いました。 ・土石流は、あんな感じでとても強く流れてくるので、こわいななあと思いました。土石流を止めている「砂防ダム」があるなんて初めて知ったし、そういう工夫があつて、私たちは災害から守られているんだなあと思いました。魚のすみやすい川にするために様々な工夫があつたので、すごいと思いました。 ・雨で川の水が増えているときは、とてもあぶないことがわかりました。大雨の時の5分ごとの映像を見たとき、水は増えるのが早いなあと思いました。土石流の映像は、はじめにすごい音が聞こえてきて、後から黒っぽいどろ水が大量に流れてきたのでとてもこわかったです。 		

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> 川は、とてもきれいなイメージがあるけれど、実際、川に関係する災害は多いと思いました。例えば、洪水。洪水はいつもは30センチぐらいの深さの川が大雨になると、157センチくらいになると聞き、びっくりしました。今度、川に遊びに行く時は、天気気をつけて行きたいです。 小泉川にどんな生き物がいるのか、前から気になっていたし、雨の1ミリとかが、天気予報を見ていてさっぱりなんのことかわからなかった。土石流をふせぐためにダムを作ったりしていたので、やっぱりすごいなあと思いました。これからはもっともっと自然や川を大切にしようと思いました。 川は、魚や川にすみつく虫などのことを考えて、大きな石や小さな石を置いたり、川が流れる段差をできるだけせまくして、魚が段を登りやすいようにすることまで考えているのですごいなあと思います。ふだん流れている川にはいろいろな工夫がされているんだなあと思いました。 私はよく小泉川の近くに遊びに行きますが、いつもたくさん魚や鳥がいるし、とても落ち着く場所です。魚は、魚道という人が作った道を通ったりすることがわかりました。たくさんの鳥がいるのもその魚道を通ってくる魚のおかげで、その魚道を作った人やボランティアの人たちのおかげなんだなあと思いました。
-----------------	---

14.2 活動状況



小泉川の川の護岸や川床の工夫



護岸の削られ方と対策



降水量の大きさでどう変わるか



15. 「川づくりと河川環境」

・平成27年11月21日（土）

15.1 実施状況

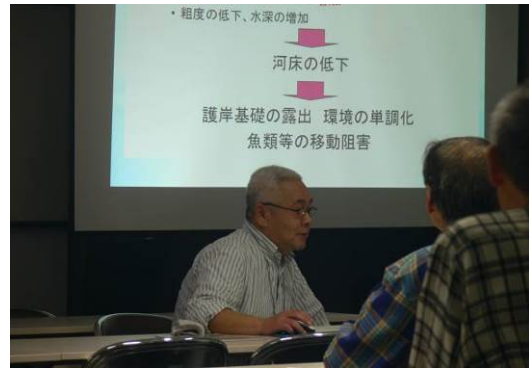
活動名	「川づくりと河川環境」講演活動		
活動分野	環境保全・啓発		
氏名	松方 隆(桂川出張所管内河川レンジャー)		
連携等	河川レンジャーとの協同・団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (後援 長岡京市、大山崎町 協力：乙訓の自然を守る会)		
活動日時	平成27年11月21日（土） 13：00～15：40		
実施場所	(場所) 長岡京市中央生涯学習センター4階 		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	14名	
	参加者	11名	大人11名
	講師	2名	京都府乙訓土木事務所河川砂防室渡邊氏 田子河川レンジャーアドバイザー
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	13：00	開始：会場準備	
	13：15	・参加者受付	
	13：30	・松方河川レンジャーによる本日の活動の主旨及び河川レンジャーの説明 ・パワーポイントによる小畑川・小泉川での環境活動の紹介	
	13：45	・乙訓土木渡邊河川室長による「川づくりと河川環境」についてのパワーポイントによる説明	
	14：15	・田子河川レンジャーアドバイザーによる「桂川の自然環境」についてのパワーポイントにより紹介	
	14：50	・質疑応答	
	15：30	・「川づくりと河川環境」感想・意見アンケート	
15：40	終了		
配付資料	・川づくりと河川環境のチラシ・「川づくりと河川環境」感想・意見シート ・「雨の強さと降り方」説明シート（渡邊氏提供）		
関係機関からの支援内容	特になし		

河川レンジャーの活動内容	準備	京都府乙訓土木事務所への協力依頼、長岡京市と大山崎町への広報掲載及び後援依頼 出前授業の2小学校へのチラシ配布の依頼 会場確保、チラシの作成印刷、 当日配布プリントの準備
	当日	会場準備、学習会の司会進行、「川と私たちの生活」の話
	事後	活動のまとめ、活動報告の作成
参加者からの意見		<ul style="list-style-type: none"> ・小畑川の概要や歴史を最初に話していただいたうえで、河川整備の変遷や工事を説明いただいたので、理解しやすかったです。 ・小畑川のこと、また治水の考え方にこれまで知らなかったことを聞かせてもらい感謝です。考えのまとまってない疑問もあり、これからも府民に向けて、ベーシックな話をされる機会を頻繁にもってください。 ・川について知らないことが多いのを改めて感じました。市民が川についての知識をグレードアップするように、河川レンジャーの活動を頑張ってください。 ・ボランティア活動、大切だと思います。新聞などで呼びかけてもらえば参加しやすいです。河川地図など、資料があればわかりやすかったです。 ・初めて知ったことばかりで、興味がわきました。災害の防止と自然環境を豊かにすることを、対立ではなく、共存という視点で実現することが大切だと思いました。嵐山の洪水の後、草が生えているところは流れずに住んだという映像には衝撃を受けました。ぜひ、今日紹介された自然の豊かさを体験していきたいです。 ・簡易帯工の話で、ダムなどコンクリートで固めてしまうよりも、石などの自然に近いものが使われていて、景観的にも自然で良いなあと思いました。

15.2 活動状況



レンジャーによる活動の紹介



河川改修・洪水等の説明



植物の種子による飛散状況の実演説明



両講師の講演を真剣に聞く参加者

○田子河川レンジャーアドバイザー（下半期）活動報告

16. 第4回桂川小学校観察会

・平成27年1月27日(水)

16.1 実施状況

活動名	第4回桂川小学校観察会		
活動分野	自然観察		
氏名	田子 稔 (河川レンジャーアドバイザー)		
連携等	団体との共催 (団体名：桂川小学校)		
活動日時	平成27年1月27日(水)9:15~14:50		
実施場所	桂川小学校音楽室~桂川上野橋右岸 		
参加対象	団体(学校) (団体名：桂川小学校6年)		
参加人数	参加総数	151名	
	参加者	144名	教師4名、6年生140名
	講師	—	
	スタッフ	6名	伊規須 貞子氏、松尾 桂三氏、福田 孝男氏、平澤 一男氏、道本なおみ氏、植田 光弘氏
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	9:15	開始、スタッフから鳥の講義	
	10:00	第1班移動開始	
	10:20	上野橋下流現地集合、ハヤブサ獲物を喰う観察	
	11:00	第2班現地観察開始(~12:00 帰校)	
	13:45	室内講義開始、スタッフと鳥合わせ(出現種の確認)、質問コーナー	
	14:00	川のゴミを減らすため、スタッフと風呂敷活用コーナー	
	14:50	アドバイザーによる最終回のまとめ、終了、解散	
配付資料	野鳥の記録シート(レジュメ：担当アドバイザー作成)、		
関係機関からの支援内容	当日取材 観察会の保険		
河川レンジャーの活動内容	準備	下見・出現鳥リスト 野鳥のテーマの資料作り・風呂敷の準備	
	当日	野鳥のテーマの話・桂川の現地観察会 鳥合わせ、質問コーナー・風呂敷の活用	
	事後	反省会	

<p>参加者からの意見</p>	<p>ハヤブサがドバトを食べている所を見て感動した。 風呂敷きの活用が面白かった。活用したい。 (以上田子河川レンジャーアドバイザー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モズによるカエルのハヤニエが持参されていたので、みんなに見せて、「どうしてこんなことをするのか？」考えてもらいました。子ども達から本能説、縄張り説、貯食説、食べ残し説、メスへのアピール説、獲物の固定説など、いろいろな意見が出されました。 また、事務局記録担当者の写真（ハクセキレイをしとめたモズ）を見てもらいました。 ・風呂敷で作るリュックや、帽子、サイドバックは賑やかで楽しそうでした。使ってみたいという子どももいました。 ・質問コーナーではあまり質問がでなかったなので、身近な鳥、ハジブトガラスとハシボソガラスの違いを説明しました。 <p>感想文を読むと、ハヤブサが獲物を食べていた様子が印象的だったようです。トビが邪魔をし、カラスが奪ったのも見ていたので、必死で生きる鳥の世界を知ってもらったように思います。 (以上伊規須貞子氏)</p>
-----------------	--

16.2 活動状況



スタッフから鳥の講義



上野橋下流現地スコープで観察



ふろしきでつくったリュック

○仁枝河川レンジャーアドバイザー（下半期）活動報告

17. 放生川をきれいにしよう！

・平成27年10月18日(日)

17.1 実施状況

活動名	放生川をきれいにしよう！『生命をはぐくむ、うるおいとやすらぎの水辺をもう一度』		
活動分野	環境整備		
氏名	仁枝 洋（山崎出張所管内河川レンジャーアドバイザー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：たいこ橋さざなみフェスト実行委員会)		
活動日時	平成27年10月18日(日)13:30~16:00		
実施場所			
参加対象	一般		
参加人数	参加総数	33名	
	参加者	25名	
	講師	—	
	スタッフ	2名	東河川レンジャー、雨嶋河川レンジャー
	連携団体関係者	3名	たいこ橋さざなみフェスト実行委員会
	府県・市職員	3名	京都府、八幡市
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	—	
スケジュール	13:00	開始 ・受付	
	13:30	開会挨拶	
	13:40	実行程説明	
	13:50	現地視察	
	14:50	ワークショップ「放生川をきれいにしよう」	
	15:50	閉会挨拶	
	16:00	閉会	
配付資料	1) 進行表 2) 現地観察並びに思いつきメモ 3) アンケート用紙		

<p>関係機関からの 支援内容</p>	<p>○淀川河川事務所 ・資料「みんなの淀川をみんなで守ろう」提供 ○たいこ橋さざなみフェスト実行委員会 ・会場代、チラシ、ポストイットカード、模造紙、事務用品及び進行表、思いつきメモ、アンケート等のゼロックス</p>	
<p>河川レン ジャーの 活動内容</p>	<p>準 備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・たいこ橋さざなみフェスト実行委員会と計画、準備等の打合せを行なった。 ・実施に区間の現地視察並びにルート調査を行った。 ・実施予定表並びに進行担当者及び安全管理を含めた打合せを行った。 ・ワークショップの進行、必要事務用品等について打合せを行った。 ・参加者数並びに配布資料及び事務用品について支援分担を取り決めた。 ・当日の会場は山柴公民館とした。
	<p>当 日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受付準備、配布資料の確認、会場設営を行った。 ・担当者ミーティングを実施。 ・現地視察及びワークショップ実施説明を行った。 ・参加者を4グループに分け、現地視察を行い現地視察補助説明を担当。 ・4グループによるワークショップを行いファシリテーターを担当。 グループ名 放生川をきれいにする会 グループ名 放生川ご近所会 グループ名 放生川で生き物をみるグループ グループ名 放生川を観光の名所にする会 ・講師による当日のワークショップの総括を行い、取りまとめ資料を参加者に配布することとした。 ・会場の整理を行い解散した。
	<p>事後</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートのとりまとめ。 ・活動のとりまとめ。
<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水量が少ないのでヘドロがたまり環境的には悪い、水源の確保で水量を多くして流れる川になるとヘドロが流れてきれいな放生川になるのでぜひ行政に考えて頂きたい。 ・流量が少ないことについては京都府から川の流量やポンプ調整等八幡市や住民も含めた説明の機会を頂き「水のきれいな放生川」を目指して行政と住民が関わりながら一体となって親水水辺作りと環境保全活動を推進するための説明会を開催して頂きたい。 ・水の流れが分からないので、清流のイメージがない。 ・川辺に設置されているベンチを景観に配慮したベンチにして欲しい。 ・家庭用水が川に流れ込んでいる。行政指導で改善して頂きたい。 ・公園内がバイクの駐車場になっている、進入出来ないよう防止杭を設置して頂きたい。 ・右岸側から男山を眺める景観はとっても良いと思います。 ・本日はポイ捨てゴミなくとっても快適、いつもこうでありたいネ・・・ 	

17.2 活動状況



活動説明と現地視察の注意点



放生川現地視察



ワークショップ

- ・各グループごとによる視察報告
景観、水質、生き物、ゴミ他気の付いたことについて発表報告された。
- ・各グループ項目の取りまとめ



ワークショップ

- ・各グループの発表と質疑応答

18 平成 27 年度羽束師地区総合防災訓練

・平成 27 年 11 月 8 日(日)

18.1 実施状況

活動名	平成 27 年度羽束師地区総合防災訓練（水のう工作成体験）		
活動分野	防災		
氏名	仁枝 洋（山崎出張所管内河川レンジャーアドバイザー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 （団体名：羽束師地区自主防災会主催、伏見消防署、羽束師消防分団）		
活動日時	平成 27 年 11 月 8 日(日)9：30～12：00		
実施場所	伏見区羽束師菱川町、市立羽束師小学校グラウンド		
			
参加対象	羽束師地区民		
参加人数	参加総数	170 名	
	参加者	158 名	羽束師地区住民
	講師	—	
	スタッフ	5 名	羽束師自治連合会、東河川レンジャー
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	7 名	伏見区消防署
	淀川河川事務所 河川レンジャー運営事務局	—	
スケジュール	9:00	開始	<ul style="list-style-type: none"> ・午前 9 時に京都市南部に震度 6 強の地震が発生したとの想定で、各家庭で初動措置(身の安全を守る)を実施後、各自主防災部(町内)で選定された地域の集合場所に避難(集合)。住民の安否を確認し避難ルートを選定して避難所の羽束師小学校へ避難(集合)等避難訓練を実施
	9:40	羽束師小学校(体育館)に避難後、情報伝達訓練・各種実技訓練を練開始	
	10:00	水のう工作成訓練（土のう・積み土のう工・簡易水防工法等展示）	
	11:25	水のう工作成訓練他各訓練終了	
	11:30	訓練講評し総合訓練終了宣言	
	11:30	終了後片付の上解散	
配付資料	なし		
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ○淀川河川事務所 <ul style="list-style-type: none"> ・河川レンジャーのぼり、ポール、河川レンジャー横断幕 ○羽束師自治連合会 <ul style="list-style-type: none"> ・土、土のう袋、プランター、ブルーシート、ダンボール箱、ポリバケツ等 		

		・協力スタッフ
河川レンジャーの活動内容	準備	関係者との事前打ち合わせ（2回）
	当日	1. 各担当者による事前ミーティングに参加 2. 当日の配置及び用具展示並びに不足用品の手配を行った 3. 水のう工作成 1班約40人の3班で実施 4. 地元自治会関係者の協力要請について4名の協力を頂いた
	事後	終了後、あと片付と使用場所の清掃を行って解散した
参加者からの意見	・雨降りの中ではダンボールによる水防工は適当ではないとの意見があった。	

18.2 活動状況



展示全景



展示全景（積み土のう工、簡易汚水防工法等）



家庭で出来る水のうの作り方解説・指導



家庭で出来る水のうの作り方解説・指導

○中川河川レンジャーアドバイザー（下半期）活動報告

19. 京都伏見ジュニア河川レンジャー

・平成27年10月

19.1 実施状況

活動名	京都伏見ジュニア河川レンジャー		
活動分野	河川美化、自然観察		
氏名	中川 雄介（河川レンジャーアドバイザー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動（行事）への出展等 （団体名：伏見区内の小学校3校）		
活動日時	平成27年10月6日（火）：桃山東小学校 平成27年10月21日（水）：桃山小学校 平成27年10月29日（木）：二の丸北小学校		
実施場所	 <p>伏見十石船着場～宇治川派流～三栖閘門資料館</p>		
参加対象	団体（学校）（団体名：伏見区内小学校 4年生児童（3校））		
参加人数	参加総数	173名	
	参加者	170名	10月6日（火）：児童65名、先生4名 10月21日（水）：児童80名、先生5名 10月29日（木）：児童13名、先生3名
	講師	—	
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	3名	
スケジュール	10:00	開始	
			・レンジャーより活動趣旨、行程、注意事項説明 【活動①】
	10:20		・十石船乗船（船上から川を観察） ・三栖閘門資料館見学 ・三栖閘門展望台見学 ・伏見みなと広場周辺散策
	11:10	【活動②】	
	11:40		・河川清掃活動（十石船船着き場までをクリーンウォーク） ・収集ゴミの回収、次回活動③の予告
11:50	終了		
配布資料	なし		

関係機関からの支援内容		○NPO 伏見観光協会：十石船乗船 ○淀川河川事務所：三栖閘門資料館、三栖閘門展望台見学
河川レンジャーの活動内容	準備	実施計画の立案：内容、実施期間、実施場所の検討 参加の案内：各小学校への訪問による案内 必要物品の準備：各関係機関への備品、資料の貸与、提供依頼 関係機関との調整：各関係機関への調整、スタッフの調整、各小学校との調整
	当日	活動の実施：開会、閉会の挨拶、進行、説明、質疑応答、参加者との交流
	事後	活動③の案内・日程調整・設備調整
参加者からの意見		舟が楽しかった・初めて乗った。 ゴミをもっと取りたい。 川の花がきれいだった 資料館で川のことや閘門のことがわかった。 展望台からまちや宇治川を初めて見た。

19.2 活動状況



【活動①】十石船に乗船し、船上から川を観察



【活動①】三栖閘門資料館見学
(模型「三栖閘門の仕組みと役割」見学状況)



【活動①】三栖閘門展望台見学
(宇治川および伏見の町並みを展望し、宇治川と地域の位置関係を学習)



【活動②】河川清掃活動
(十石船船着き場までをクリーンウォーク)

○淀川管内河川レンジャー連携活動

20. 京都環境フェスティバル 2015

・平成 27 年 12 月 12 日(土)～13(日)

20.1 実施状況

活動名	京都環境フェスティバル 2015		
活動分野	広報		
氏名	池宮河川レンジャー・川嶋河川レンジャー・出来河川レンジャー・原河川レンジャー 東河川レンジャー・松方河川レンジャー・中村河川レンジャー・山田河川レンジャー 田中河川レンジャー 仁枝河川レンジャーアドバイザー、福井河川レンジャーアドバイザー（管内全域）		
連携等	他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：京都府、京と地球の共生府民会議、京都府地球温暖化防止活動推進センター)		
活動日時	平成 27 年 12 月 12 日(土)、13 日(日) 10:00～16:00		
実施場所	京都府総合見本市会館（京都パルスプラザ） 〒612-8450 京都府京都市伏見区竹田鳥羽殿町 5		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	774 名	
	参加者	767 名	1 日目 352 名、2 日目 415 名
	講師	—	
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	3 名	淀川河川事務所
	河川レンジャー運営事務局	4 名	
スケジュール	10:00	開始	
		<ul style="list-style-type: none"> ●環境ゾーン ・京都府域三川（宇治川・木津川・桂川）に生息する水生生物の展示・解説 ・自然材を使った工作体験の指導（ヨシ笛） ●防災ゾーン ・平成の水害パネル展示・解説（平成 25 年台風 18 号時の航空写真パネル） ・簡易水防工法の展示・解説 ●河川レンジャーに関するパネル展示・解説 	
	16:00	終了	
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「第 8 回桂川流域クリーン大作戦」パンフレット ・実施予定の河川レンジャー活動案内 		
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・淀川河川事務所・・・出展備品等一式の貸与、運搬 		
河川レンジャーの活動内容	準備	<ul style="list-style-type: none"> ・出展に向けた企画会議の開催 ・出展に向けた申請等各種調整 ・出展ブース設営作業（12 月 11 日(金)） 	
	当日	<ul style="list-style-type: none"> ■当日運営のスタッフ打合せ ■ブース運営 ・京都府域三川（宇治川・木津川・桂川）に生息する水生生物の展示・解説 ・自然材を使った工作体験の指導（ヨシ笛） ・平成の水害パネル展示・解説（平成 25 年台風 18 号時の航空写真パネル） ・簡易水防工法の展示・解説 ・河川レンジャーに関するパネル展示・解説 ・水生生物展示水槽の水換え ・出展ブースの撤収作業 以上を河川レンジャー、河川事務所、河川レンジャー事務局で実施	
	事後	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書の作成 	

<p>参加者からの意見</p>	<p>【京都府域三川（宇治川・木津川・桂川）に生息する水生生物の展示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川にまだこんなに種類の魚がいるとは知らなかった。昔より川が汚れて、 ・魚は減っていると思っていた。 ・子供の頃魚とりをしたのが懐かしく思い出した。 <p>【自然材を使った工作体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ヨシ」についてどのような植物か勉強になった。（葦簀、水質浄化、雅楽の楽器の一部になるなど） ・難しかったけど楽しかった。 ・鶴殿や向島以外にもヨシは淀川で生息しているのか。 <p>【淀川の水害航空写真パネル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年の台風 18 号はすごかった。思い出す。 ・今年も鬼怒川の被害があり、雨の降り方が急で怖い。 <p>【簡易水防工法の紹介】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭にあるものでの工夫、勉強になった。 <p>【河川レンジャーに関するパネル展示・解説】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川レンジャーのことをはじめて知りました。 ・行政が地域の方と一緒にこんな取り組みをしているとは知らなかった。 ・「河川レンジャー」と耳にしたことはあったが、活動の情報を知る方法が判らなかった。知るにはどうしたらいいですか？ ・魚とりなどの自然観察の活動に子供と参加してみたい。
-----------------	--

20.2 活動状況



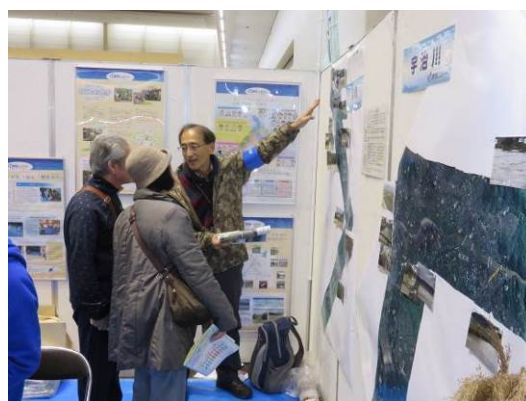
出展ブース全景



京都府域三川（宇治川・木津川・桂川）に生息する水生生物の展示・解説



自然材を使った工作体験の指導（ヨシ笛）



平成の水害パネル展示・解説